

## 安全データシート



## 1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室  
 担当者 : 認証標準物質担当  
 電話番号 : 029-861-4059                      ファックス番号 : 029-861-4009  
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2006年5月24日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 7303001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 7303-a 湖底質(有害金属分析用)  
 (Trace Elements in Lake Sediment)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、実際の湖底質より調製されたものであり、底質やそれに類似したマトリックス試料中の微量元素の定量分析における分析精度管理に用いる他、分析方法あるいは分析装置の妥当性確認に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。

本標準物質は、標準物質(日本産業規格(JIS) Q0030に定められるもの)である。

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない

GHSラベル要素 : -

注意喚起後 : -

危険有害性情報 : -

その他の有害性情報 : 眼、皮膚を刺激する可能性は少ないと考えられる。  
 多量に粉塵を吸収した場合、呼吸器への蓄積による障害の原因となる。

注意書き : [安全対策]  
 経口摂取は有毒である。  
 [応急措置]  
 飲み込んだ場合は水でよく口の中を洗浄する。必要に応じて医師の処置を受ける。

[保管]  
 試料の保存は室温で行う。遮光し、高温多湿の場所はさけること。一度開封した場合はできるだけ密栓した状態で保存すること。

[廃棄]  
 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: 海底質
化学特性	: -
分子量	: -
CAS 番号	: -
含有量	: 99 %以上
官報公示整理番号(化審法)	: -
官報公示整理番号(安衛法)	: -

ただし以下の元素を含む。

Sb、As、Cd、Cr、Co、Cu、Pb、Hg、Mo、Ni、Se、Ag、Sn、Zn、Al、Ca、Fe、Mg、K、Na、Ti、Mn、P、Sr

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄する。医師に連絡する。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤	: 周辺火災適応消火剤。
火災時の特有危険有害性	: 不燃性である。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 皮膚、眼および個人の衣服の汚染を防止するため、適切な保護具を着用する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

- 回収、中和 : 漏出した製品は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 酸化剤との接触又は混合を避ける。
- 局所排気・全体換気 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。  
粉塵の吸入を避ける。  
長時間または反復の曝露を避ける。  
作業中は飲食、喫煙をしない。  
取扱い後、十分に洗浄する。  
炎、火花又は高温体との接触や加熱を避ける。

### 保管

- 適切な保管条件 : 試料の保存は室温で行う。遮光し、高温多湿の場所はさけること。一度開封した場合はできるだけ密栓した状態で保存すること。
- 安全な容器包装材料 : ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 安全管理上の留意事項

- 設定されていない
- ・火気厳禁とする。
  - ・高濃度蒸気を吸入すると急性中毒になる。

### 管理濃度

設定されていない

### 許容濃度

- ・ ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
- ・ 日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない

### 設備対策

#### ◇換気・排気

- ・局所排気装置又は全体換気装置（多量に取扱い、粉塵が発生する場合）

### 保護具

- ・呼吸用保護具。
- ・安全ゴーグル。

## 9. 物理的及び化学的性質

・外観	: 粉末
・色	: 灰色
・臭い	: 無臭
・pH	: データなし
・融点	: データなし
・沸点	: データなし
・引火点	: データなし
・爆発範囲	: データなし
・蒸気圧	: データなし
・相対蒸気密度 (空気 = 1)	: データなし
・比重又は嵩比重	: データなし
・溶解度	: 水に溶解する可能性あり
・n-オクタノール/ 水分配係数 (log Po/w)	: データなし
・自然発火温度	: データなし
・分解温度	: データなし
・燃焼性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

### ◇安定性

- ・通常条件で安定である。

### ◇反応性

- ・データなし

### ◇危険有害反応性

- ・データなし

### ◇避けるべき条件

- ・データなし

### ◇混触危険物質

- ・データなし

### ◇危険有害な分解生成物

- ・データなし

## 11. 有害性情報

皮膚腐食性／刺激性	: 刺激する可能性あり。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 刺激する可能性あり。
呼吸器感作性	: 多量に粉塵を吸入した場合、呼吸器への蓄積による障害の原因となる。

### その他

※有害性情報については、混合物としての情報がいないため、原材料の情報より作成しています。本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

- ・データなし

### 分解性・濃縮性

- ・データなし

### 生体蓄積性

- ・データなし

### 土壌中への移動性

- ・データなし

### オゾン層への有害性

- ・データなし
- 

## 13. 廃棄上の注意

- ・都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
- 

## 14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
国連分類	: -
品名	: -
容器等級	: -
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 容器の落下、転倒等に注意し、慎重に運搬する。

---

## 15. 適用法令

適用法令なし

---

## 16. その他の情報

### その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

---